

「平成 23 年度 森林及び林業の動向(第 1 部 森林及び林業の動向)」の構成と内容 (案)

【特集テーマを「東日本大震災からの復旧・復興に向けて」とした趣旨】

- 平成23年3月に発生した東日本大震災により、森林・林業・木材産業においても甚大な被害が発生しており、震災からの復興に当たっては、合板等の供給体制の整備、海岸防災林の整備等の課題が指摘されている。
- 平成23年度白書の特集では、東日本大震災による被害状況、復興方針における森林・林業・木材産業の位置付けを整理した上で、復旧・復興に向けた森林・林業・木材産業の取組を記述する。あわせて、原子力災害からの復興についても記述する。

【各章の構成と内容】

トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・「森林・林業再生プラン」の実現に向けた制度・体制の整備、大雨による山地災害の多発、「2011 国際森林年」、小笠原諸島の世界自然遺産への登録について記述。
I 東日本大震災からの復旧・復興に向けて 1 東日本大震災による被害と初期対応 2 復興方針における森林・林業・木材産業の位置付け 3 復旧・復興に向けた森林・林業・木材産業の取組 4 原子力災害からの復興 5 震災からの復旧・復興と森林・林業の再生	<ul style="list-style-type: none"> ・震災による森林・林業・木材産業への被害と震災直後の初期対応について記述。 ・政府・地方公共団体の復興方針における森林・林業・木材産業関連施策について記述。 ・森林・林業・木材産業の復旧状況について記述。また、復興に向けた森林・林業・木材産業の貢献として、「減災」の考え方に基づく海岸防災林の復旧・再生、新しいまちづくりに向けた木材の活用、エネルギー安定供給に向けた木質バイオマスの活用について記述。 ・森林の放射能汚染について記述。
II 地球温暖化対策と森林 1 地球温暖化の現状 2 京都議定書の目標達成に向けた取組 3 2013年以降の国際的な気候変動対策の枠組み	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出の現状、森林吸収源対策や排出削減量等のクレジット化など、京都議定書の目標達成に向けた取組について記述。 ・2013年以降の枠組みにおける森林の取扱いに関する交渉状況について記述。
III 多様で健全な森林の整備・保全 1 多様で健全な森林の整備 2 国土保全の推進 3 国際的な取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の森林を巡る動向、間伐等の森林整備、生物多様性の保全、花粉発生源対策等について記述。また、国民参加による森林づくり活動の推進状況等について記述。 ・地域の安全・安心の確保を図る治山事業、森林病虫害、野生鳥獣被害対策の取組等を記述。 ・世界の森林資源の現状と持続可能な森林経営の推進に向けた国際貢献等について記述。
IV 林業・山村の活性化 1 林業の現状と課題 2 林業の再生に向けた取組 3 山村の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・林業経営の現状、森林組合をはじめとする林業事業者の状況、林業労働力の確保、労働災害等について記述。 ・「森林・林業再生プラン」の実現に向けた取組について記述。 ・山村の現状、山村の活性化対策等について記述。
V 林産物需給と木材産業 1 林産物需給の動向 2 木材産業の動向 3 木材利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・木材需給量・自給率・価格の動向について、国際的な資源問題も含めて記述。 ・住宅着工の動向、製材・合板・パルプ・チップの動向等について記述。 ・公共建築物の木造化、木質バイオマスのエネルギー利用、木材輸出等について記述
VI 「国民の森林」としての国有林野の取組 1 国有林野の役割 2 「国民の森林」としての管理経営 3 国有林野事業における改革の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公益的機能の発揮のための森林の保全・管理や国民参加の森林づくりの推進など、国有林野が「国民の森林」としての役割を果たすための取組について記述。 ・国有林野事業における改革の取組状況について記述。